

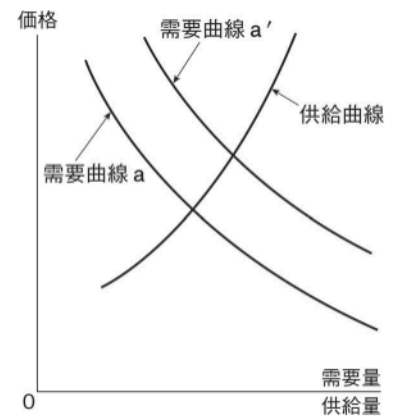
経済①「現代経済の仕組み」

市場経済と価格 A

 7分

1. 市場における需要量・供給量と価格の関係を表した右下の図を見て、次の問いに答えなさい。

(1) 図のように、供給曲線が変わらないまま、需要曲線が a から a' に移動したときに起こりやすい傾向^{けいこう}を説明した文として最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。



- ア 市場価格は上がり、取引量は増加する。
- イ 市場価格は上がり、取引量は減少する。
- ウ 市場価格は下がり、取引量は増加する。
- エ 市場価格は下がり、取引量は減少する。

[1]

(2) 市場に供給を行う企業が減ると、図のような価格決定のしくみが機能しなくなることがある。これについて、次の問いに答えなさい。

① このようなときに、供給を行う企業が価格競争を行わずに横並びで決める価格を何というか。

[2]

② 価格競争が弱まって、不当な高値で商品を買わされるなどの不利益を消費者が受けられないようにするために国が行っていることを、法律名と行政機関名にふれながら簡潔に答えなさい。

[3]

(3) 市場価格について説明した文として最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 市場価格の高騰^{こうとう}を防ぐため、農家は農産物の収穫量^{しゅうかく きょくたん}が極端に多いと、出荷せず廃棄^{はいき}することがある。
- イ 企業が人為的に供給量^{じんいてき}を変化させやすい工業製品は、農林水産物以上に市場価格が変動しやすい。
- ウ 生産者は一般に、需要量が多く、市場価格がより安い商品の生産を増やす傾向がある。
- エ 水道料金や鉄道運賃などの公共料金は、料金が上がることで国民の生活に大きな影響をあたえるので、市場の原理で決まる市場価格とはなっていない。

[4]